

## 2016年5月度役員会議事録

日時：2016年5月30日(月)18:00～

場所：サンピアセリーズ

参加者：原田会長、横田副会長、南、横山、今井、三浦、濱渦、岡林

### 議題

#### I) 2016年度コンクリート診断士受験対策講座

【開催日】2016年6月4日(土)9:00～17:00

2016年6月5日(日)9:00～17:00

【場所】ポリテクセンター高知

【参加費】¥10,000

【講師】

氏家 勲 愛媛大学大学院工学研究科 生産環境工学専攻教授

渡辺 健 徳島大学大学院 ソシオテクノサイエンス研究部 准教授

横井 克則 高知高専 環境都市デザイン工学科 教授

近藤 拓也 高知高専 環境都市デザイン工学科 准教授

【講習内容】論文Aと論文B(中性化、ASR、疲労・火災、凍害、塩害、化学的腐食)

- ・会場使用料金は2日間で¥24,600である。
  - ・参加者は受講生24名と会員11名および講師陣4名の合計39名である。
  - ・受講生および会員のCPDSは技士会から発行。
  - ・6/4(土)の懇親会は講師陣含め16名である。
  - ・テキストについては、今回は市販の参考書は使用しない。昨年度までに当講習会で使用したものから抜粋して作成しそれを資料(テキスト)とする。
  - ・講師陣へのパワーポイント資料についても、上記テキストを参考にする。
  - ・今回の募集に対する反省として、コンサルタント関係者の申込みが少ない。事前にコンサルタント関係者に通知して、業界から情報発信して頂くよう次回からは取り組まなければならない。
  - ・受講生に対して勉強で分からない箇所は、講師陣に2日間の間に質問(個別)できる体制づくりが必要
  - ・アンケートは岡林氏が作成する。
  - ・テキスト等資料の作成部数は40部とする。
- 【当日のスケジュール】
- ・役員は8:30に会場へ集合すること。
  - ・参加者にお茶を用意する。
  - ・パソコンとプロジェクターの確認

#### II) 平成28年度通常総会・研修会について

【日時】平成28年6月25日(土) 15:00～

【場所】高知サンライズホテル

- ・研修会は『橋梁の点検、診断に必要な橋梁工学(鋼材を主体として)』: 第一コンサルタント 前田秀夫氏 に2時間講師を務めて頂く。
- ・前年同様講習会はCPD証明書を発行する(2.0時間×0.5=1.0単位)
- ・資料作成は前年度とおり各担当者に作成頂く。

#### III) 日本コンクリート診断士会総会の報告

5月24日(火)に開催された総会の報告が出席者の原田会長より行われた。平成28

年4月現在20地区が設立されている。会員数が増えたことがあり、各地区の報告はペーパーレス化を図りパワーポイントによる持ち時間4分で行われた。

島根県診断士会では、県、橋梁会および診断士会が協力してコンクリート構造物の調査を行うことが報告された。

・会員について、現在は高知県コンクリート診断士会の登録されている会員、賛助会員、特別会員および技術顧問がJCD会員にも登録されている。昨年度より氏家先生も技術顧問として登録されております。氏家先生にご承諾を頂いたのちJCDへ学会会員としての登録するよう原田会長より提案があり、協議の上了承された。速やかにJCDへ会員登録を行うこととした。

#### IV) 2016年度第7回コンクリート技術研修会について

【日時】2016年9月30日 13:00～17:00

【場所】サンピアセリーズ

原田会長および横田副会長とで、高松の整備局および旧山口県職員で現西日本高速道路路エンジニアリング中国(株)山口支店長の二宮氏をそれぞれ訪問し、コンクリート技術研修会への講師依頼を行ってきた。二宮氏は徳山高専の田村教授と共に山口県のコンクリートのひび割れ評価基準を作成された方で、現在高知県においても、山口県のシステムを導入する計画であることを伝えると非常に喜ばれており、講師要請を快諾頂いた。整備局も出前講座を前年同様に申請し了解を得ている。また、徳山高専副校長の田村教授にも連絡をとり、講演の承諾を得ている。高知県土木においては、本年度導入予定の「高知県建設工事成績評価綱領」の改訂のランク付けを考慮して、依光技査に講師要請をしている。

現段階では、各講師陣に正式な講師依頼書を作成している。

内容は、四国地方整備局「出前講座」(40分)、二宮氏(60分)、県土木部(30分)、田村教授(90分程度)としている。演題は7月末までに知らせて頂き、8月の盆休み前に募集を開始する予定である。資料は9月上旬に作成する。

#### V) 現場見学会

芸西村の和食ダムの見学会を開催予定である。時期は7月～8月としている。学生にも参加してもらいたいのので、高知高専、工科大学のスケジュールを考慮した計画を実施する。

#### VII) その他

熊本県の震災により、建築物の耐震診断が注目されている。今井委員より木造建築の診断を非破壊試験(早稲田式)で診断業務を実施しているNPO法人がある旨を紹介された。方向性として当診断士会も建築士会等連動できるものがあれば協力したい等意見が挙げられた。

以上  
2016年5月31日(火)  
文責：岡林